

## プレー上の注意点 『自分に厳しく、人にやさしく』 2017/08/01

1. ゲームの開始時や終了時には挨拶を交わしましょう
2. 牌山を全員が前に出し井桁の状態でサイコロを振りましょう
3. 全ての行為は発声を優先し、発声ははっきりと他の3人に聞こえるようにしましょう
4. 先ツモは厳禁です。捨て牌は六枚切りにし、呼称しないで捨てましょう
6. 手牌に関することは誤解を招きますので口にせず、局終了後の「解説」も慎みましょう
7. 言動や態度には細心の注意を払いましょう。また、手牌も常に立てておきましょう
8. 点棒の支払は投げずに丁寧に渡しお釣りがあがる場合は「何点おつり」と声を掛けてあげましょう。またアガった人は、牌を見易く並べてから倒すようにしましょう
9. 姿勢良くゲームをしましょう（立て膝、肘を卓につく、足組などは慎みましょう）

## ルール

- |   |                    |
|---|--------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持ち点を 30000 点（改定前 25000 点）</li> <li>2. 喰い替えあり（改定前 出来ない）</li> <li>3. 発声ミスはアガリ放棄とし 1000 点罰符は全て廃止（改定前 1000 点罰符）</li> <li>4. チョンボは 12000 点の除外（改定前 3000 点オール）</li> <li>5. 流局時の供託点及び罰符は誰にも加えない（改定前 トップ取り）</li> </ol> | <b>2017年9月より改定</b> |
|---|--------------------|

喰いタンあり・後付けありのルールです（アガった瞬間に1翻あればよい）

◇東南戦、3万点持ち。大会は時間打ち切り（打掛局終了まで）※次局の開始は前局の倒牌とする

◇記録は素点記入（例：36500）合計が多い時はトップから引き少ない時はそのまま

◇順位点自動計算（トップ+1万2千・2着+4千・3着▲4千・ラス▲1万2千）で同着は上家上位（※分け）

◇ノーテンは場3千点。連チャン（聴牌連チャンあり）は一本場につき300点（※なし）。親がノーテンなら親流れで、オースならゲーム終了。（供託は誰にも加えず除外する）

◇30符4翻（役+ドラ）は子で8000・親で12000（※7700、11600）

◇形式テンパイあり。（自分が待ち牌をすべて使っている時は無効）

◇喰い替えあり（234から1をチーし打4ができます）

◇途中流局なし（九種倒牌・四風連打・四人リーチ）、及び流し満貫なし

◇あがり者は常に一人。（同時あがりは頭ハネ）

◇人和、カン振り、嶺上開花ツモでの責任払い等なし

◇役マンの特例なし。（ダブル役満の倍点数や国士無双のフリテン特例など）

◇役マンのパオ（責任払い）は大三元の3フーロ・大四喜の4フーロ目をボンあるいはカンさせた時とし、ツモは全額・ロンは半額負担

青色の（※）は第三土曜日競技会のみ採用

## リーチ

◇フリテンリーチはツモあがりのみ ◇リーチ後のツモ牌選択あり

◇一発・裏ドラ・カンドラ・カン裏ドラあり ◇ノーテンリーチは流局時にチョンボ

◇リーチ後の暗カンはメンツ構成が変わらない場合のみ可能

例) 一一一三四四四での一もメンツ構成が変わるため槓はできず発覚時にチョンボ

## 罰則 ※但し罰則の運用は指導者に従う

◆チョンボ 正当なアガリでない倒牌、及びゲーム続行不能にした場合は12000点を除外し終了時に供託・罰符欄に記入する。その局は再ゲームとし、その局の供託点は戻し、場積みも増やさず親も移動しない

補足：①倒牌の判断、ゲーム続行不能の判断等、チョンボの裁定は指導者に従う

◆アガリ放棄 誤発声はすべてアガリ放棄とし、それ以降の発声行為は出来ず、流局時はノーテン扱いとする。但し、ボンロンは単なる誤発声で即倒牌の場合のみアガリを認める

補足：①誤発声には他家の打牌への「待って」も含み行為が出来ない場合はアガリ放棄  
②アガリ放棄後に発声行為をした場合はチョンボにせず行為を戻し続行する